

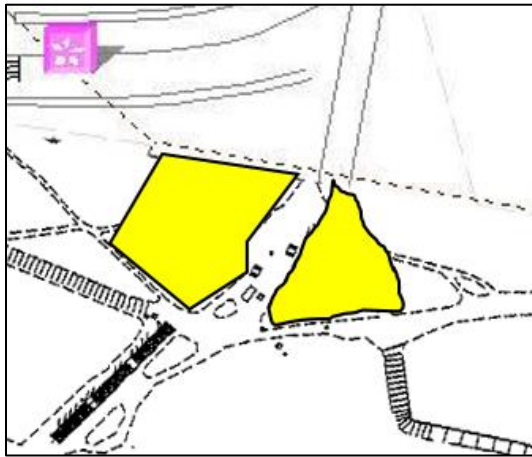
武蔵台公園保全活動作業記録

1 日時 令和5年1月20日（金） 午前9時～11時

2 参加者

- | | |
|-------------------|----|
| (1) 自然環境調査員会議委員 | 4名 |
| (2) 府中市環境政策課自然保護係 | 2名 |
| (3) 第一造園株式会社 | 1名 |

3 活動場所 Aエリア（東側及び西側）



作業前の状態

当該エリア西側は、令和3年12月及び令和4年11月にササ、下草の刈り取りやツル植物の除去、並びに常緑樹の除伐を行ったエリアである。また、東側についても令和3年度に落葉かきを実施している。

西側は東側と比べると作業直後のため、綺麗な状態であり、下草が多少あるものの落葉かきに入っていけそうな状況である。東側はヌルデ等の先駆樹種が多く生育するとともに、枯れた多くの下草が存在し、先駆樹種及び下草、ツルの除去が必要である。

4 活動の目的

松林を維持し、松林における本来の林床植生を復元させる。

5 活動内容

(西側)

- ・熊手を使用した落葉かきを行った。南側はマツの稚木が多く生育しているため、マツの周りの落葉を手でかきだした。

(東側)

- ・先駆樹種であるヌルデ等の駆除を行った。

(共通)

- ・草本植物やマツ、コナラ幼木の生育の支障となるササ、下草の刈り取りやツル植物の除去、並びに常緑樹の除伐を行った。
- ・作業は草刈り鎌、刈込ばさみなどを用い、刈り取ったササや草はゴミ袋に詰め搬出した。
- ・搬出した刈草は公園管理者である公園緑地課に回収を依頼した。

6 今後の展望及びその他記録など

- ・ 東側は昨年度に落葉かきを実施したにも関わらず多くの落葉が堆積していた。
- ・ ヌルデ等の先駆樹種は東側に多く生育していた。冬期で葉が無いことから、見分けがしづらいものもあったため、葉が出た後に駆除作業を実施する必要がある。
- ・ 東側の林縁にはラン科の植物の発生を確認することができた。(写真参照)
- ・ 西側の南側には前回の作業に引き続き、多くのマツの稚木が確認できた。落葉かきは必要だが、マツをいためないように配慮して作業を行う必要がある。
- ・ 西側は今回初めて落葉かきを実施した。春以降に発生する植物に注目したい。

7 記録写真

【作業前】



【作業中】



【作業後】



【確認できたラン科植物】



キンランと思われるラン科植物



群生するラン科植物 (種類不明)